

スケジュール

平成29年5月～10月	内閣府ウェブサイトのNPO公開情報を一覧表にする
平成29年11月～12月	データの確認を打ち合わせ
平成30年1月～3月	浜松市役所の文書テーターを写真撮影し、これをデータに加える
平成30年3月以降	データを再確認し、分析中

研究成果

データが平成18年から平成27年までのすべてのNPO情報であったため、非常にデータが膨大になったことと、入力を学生に一度任せていたため、資金分類がまちまちであったりし、現在、最終的な修正と調整を行なっている最中である。今後は、資金分類ごとにその量、その増減を見て、分析をしていく。現時点で注目しているのは、「自己資金（会費、寄付）」が安定している団体は、スポーツ、資格取得を目的とする団体、ペット保護団体に多く、福祉系のNPO、中山間部のNPOは「行政資金」への依存度がかなり高いということである。その中でも、自己資金、事業収入、外部助成金などを多角的に資金リソースを分散させ、安定感のある団体もあり、今後はモデル財政構造を提案し、詳細な分析を行なっていく予定である。



異文化理解を目指すNPOの活動



学生のフードバンク（NPO）活動への参加

今後の研究成果の還元方法

今年10月まではこの研究の仕上げのために集中していきたい。導き出したい結論は「NPOの安定的財政モデルのパターン」と「それを形成するための、行政資金のあり方への提案」である。成果を報告書の形にまとめ、まずは浜松市役所の市民協働・地域振興課、NPO関係者の間にシェアをし、役立てていく予定である。また論文にこれらの成果をまとめ、発表していく予定である。